

2026 第 11 号 <No. 268> JICA 「世界の笑顔のために」プログラムにてマラウイ共和国へ医療備品を寄贈（2026 年 3 月 26 日配信）

昨年 10 月、本学では独立行政法人国際協力機構（JICA）青年海外協力隊事務局「世界の笑顔のために」プログラムを通じて、アフリカ南東部に位置するマラウイ共和国へ、学内で廃棄予定となっていた車椅子、スタンド型手動血圧計、点滴スタンド各 1 台を寄贈いたしました。

今回の寄贈は、河村洋子教授（安全衛生マネジメント学）を介し、産業保健学部環境マネジメント学科卒業生（3 期生）である河本万里子氏から依頼を受けたことがきっかけで実現しました。当時、JICA 海外協力隊としてマラウイ共和国で活動されていた河本氏が現地での診療所立ち上げに尽力されており、本学からも開発途上国で必要とされている医療用物品等の寄贈ができないかと声をかけていただきました。一旦国内で集められた寄贈品は、2026 年 1 月に無事現地に到着したということで、この度、河本氏および現地診療所関係者よりお礼状と写真が届きました。河本氏によれば、現地には身体が不自由でも車椅子が利用できない方や、自身の血圧を把握する機会がない方も多くいらっしゃるとのこと。本学では今後も、このような国際的な社会貢献活動に積極的に取り組んでまいります。皆様の温かいご理解とご協力をお願いいたします。

※独立行政法人国際協力機構（JICA）青年海外協力隊事務局「世界の笑顔のために」プログラム：開発途上国で必要とされている、スポーツ、日本文化、教育、福祉などの関連物品を皆さまからご提供いただき、JICA 海外協力隊や在外事務所を通じて、現地の人々へ届けるプログラムです。（JICA HP より抜粋）

[「世界の笑顔のために」プログラム | JICA 海外協力隊](#)



診療所と近隣の小学校が協同で作成した御礼状①（ZIKOMO は現地語で「ありがとう」）



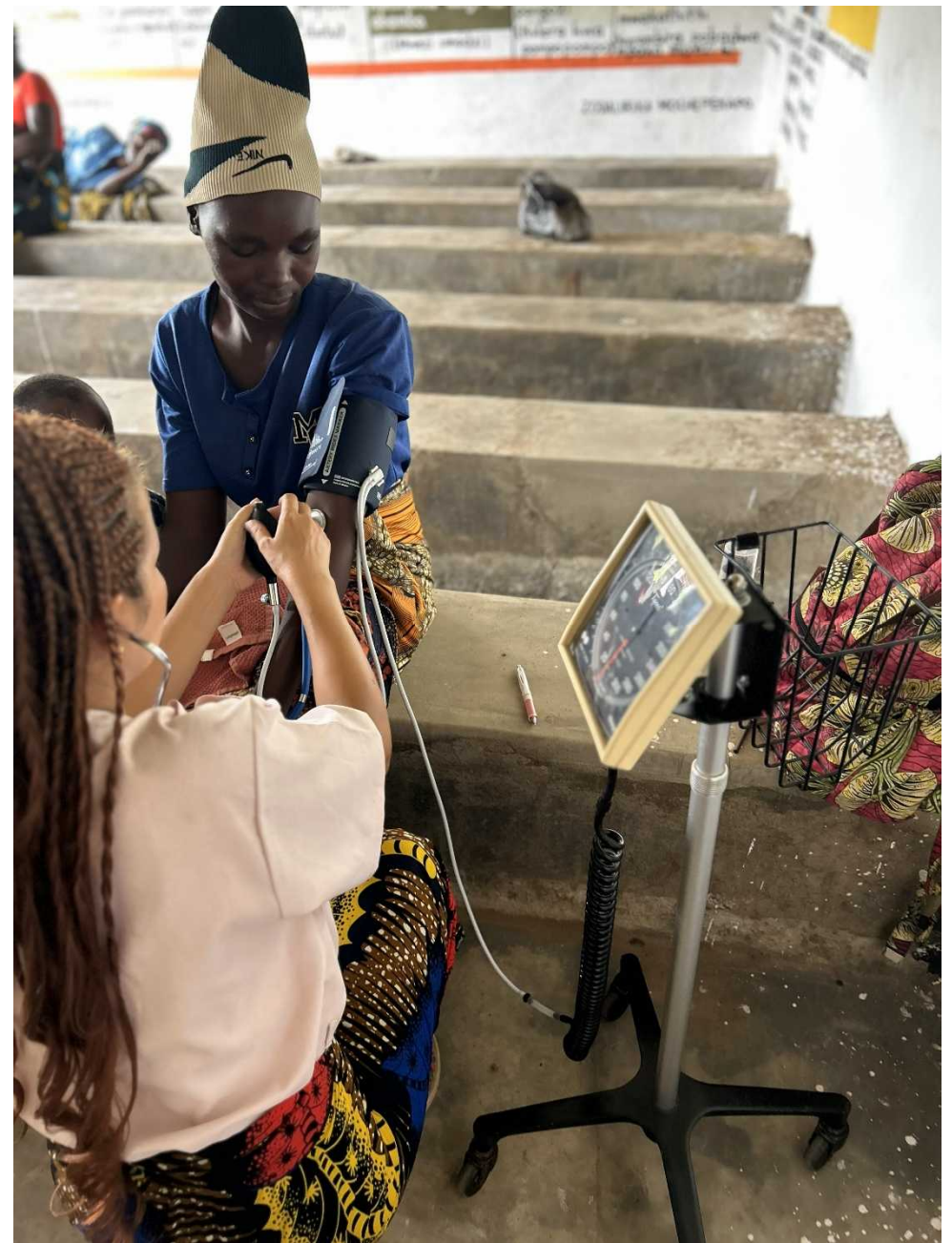
診療所と近隣の小学校が協同で作成した御礼状②



診療所職員による手動血圧計を用いた健康啓発活動



診療所職員への寄贈の様子



手動血圧計での血圧測定



寄贈式の様子



現地小学生の御礼状作成の様子